

平成 29 年度学校納入金等調査の概要

教育政策課

この調査は、県単独調査として昭和 51 年度から、教育関係事務の定例報告に関する規則（昭和 32 年長野県教育委員会規則第 1 号）に基づいて実施している。

1 調査目的

児童生徒の保護者が学校に納入している学校納入金等の実態を把握し、教育行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象

公立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校、専修学校 ※幼保連携型認定こども園及び義務教育学校は今年度調査より対象

(28.5.1 現在)

学校種別 項目	幼稚園	幼保連 携型認 定こど も園	小学 校	中 学 校	義務 教育 学校	特別 支援 学校	高等学校			専修 学校	計	
							全 日 制	定 時 制	通 信 制			
学校数 (校)	11	2	(6) 368	(3) 188	1	19	(2) 80	(1) 19	2	7	697	
児童・生徒数 (人)	558	196	109,629	58,089	579	2,461	46,219	1,941	1,962	620	222,254	
会P 員T 数A	保護者	526	186	82,842	53,021	370	2,273	45,553	1,902	784	145	187,602
	教職員	89	15	8,259	5,150	74	1,728	4,228	332	52	15	19,942

(注1) () 内は分校数で内数。また、休校を含む。高等学校で全日制課程と定時制課程を併置する学校の数、全日制課程及び定時制課程それぞれに計上。

3 調査対象期間 平成 28 年度

4 調査系統



5 調査事項

- (1) 学校徴収金 …… 学校納入金等のうち、学校給食費、遠足・修学旅行費、生徒会・学級会費など学校の教育活動に支出した金額。
- (2) P T A 会計 …… P T A または P T A と同一の活動目標をもつ団体の会計の状況。
- (3) その他の会計 …… P T A 以外の同窓会や学校後援会、その他の団体の会計、または学校への寄付金 (P T A 以外の団体または個人からの寄付金) の状況。

※ 構成比及び 1 人当たりの金額等については、原則として個々の数値を四捨五入しています。そのため、個々の数値の合算が合計と一致しない場合があります。

平成 29 年度 学校納入金等調査に係る調査結果について

教育政策課

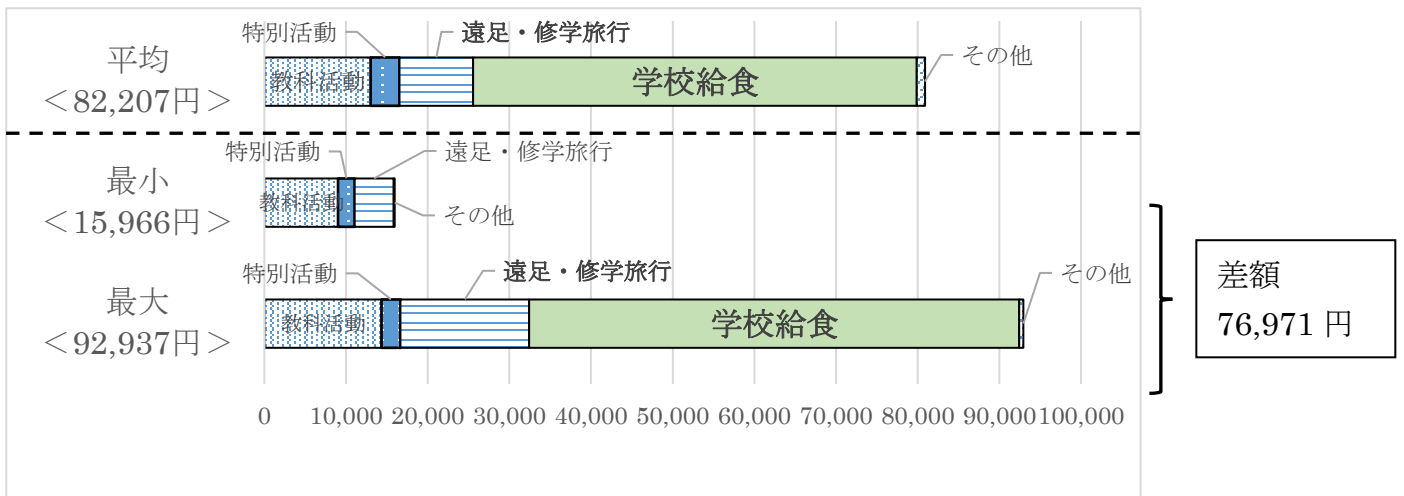
1 現状及び分析の方向性

現在、子どもの貧困対策が重要課題となっており、保護者の教育に係る負担を軽減することが求められている。

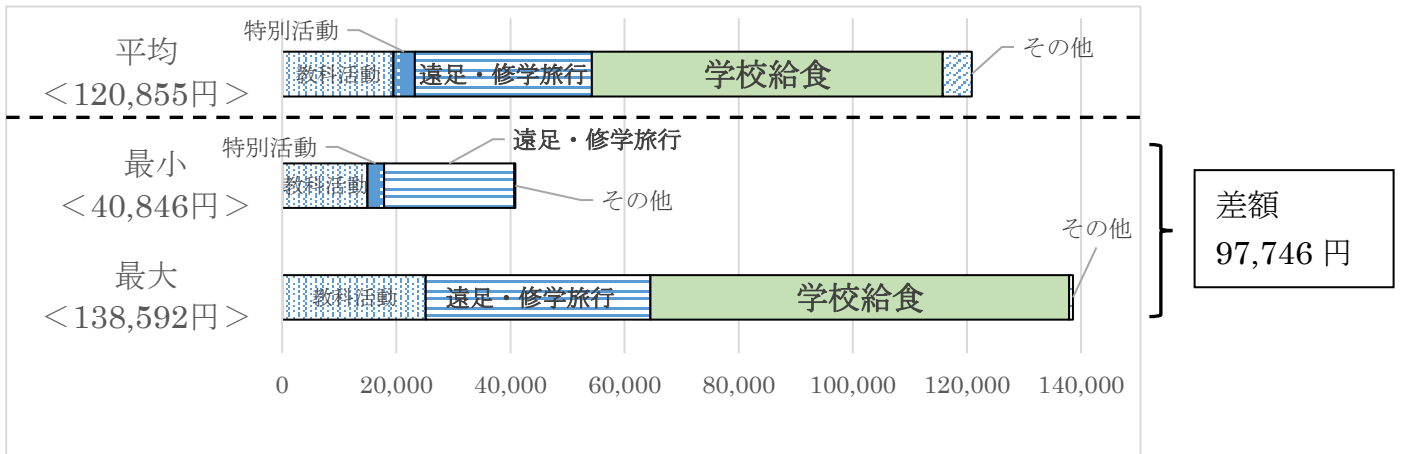
本調査は、保護者の教育にかかる費用負担を把握するための一基礎資料とするため実施しており、平成 29 年度の調査では、児童生徒 1 人当たりにかかる学校徴収金に焦点をあてる。

2 学校徴収金に係る市町村ごとの 1 人当たり支出額の差

○ 小学校



○ 中学校



3 年額の差が大きい理由

小学校、中学校ともに、学校徴収金の支出において学校給食費が最も大きな割合を占めている。

学校給食にかかる費用に関して保護者負担を 0 としている自治体と保護者負担とする自治体では大きな差があることが分かる。

学校給食費が高額となっている自治体においては、地産地消の観点から自治体内産の食材を利用している場合や、センター方式によるものではなく、自校給食による場合が多い。

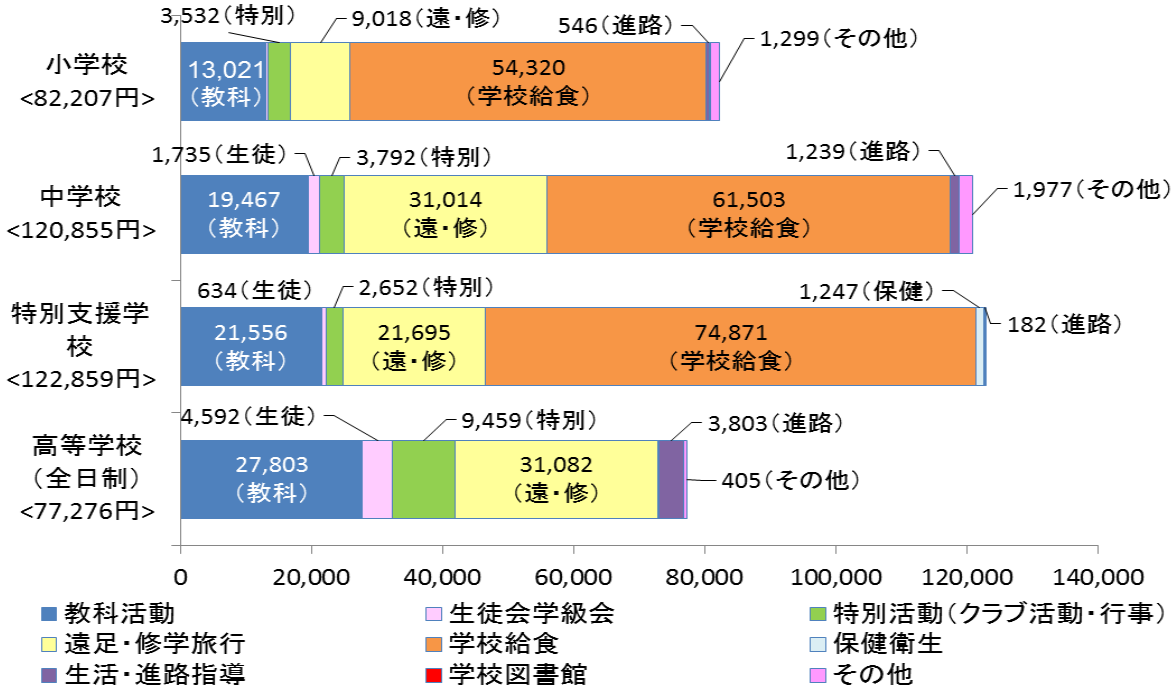
しかしながら、保護者の負担軽減のため、学校給食に対する補助金を支出しているなどの取組も見られる。

平成29年度 学校納入金等調査結果の概要

1 学校徴収金

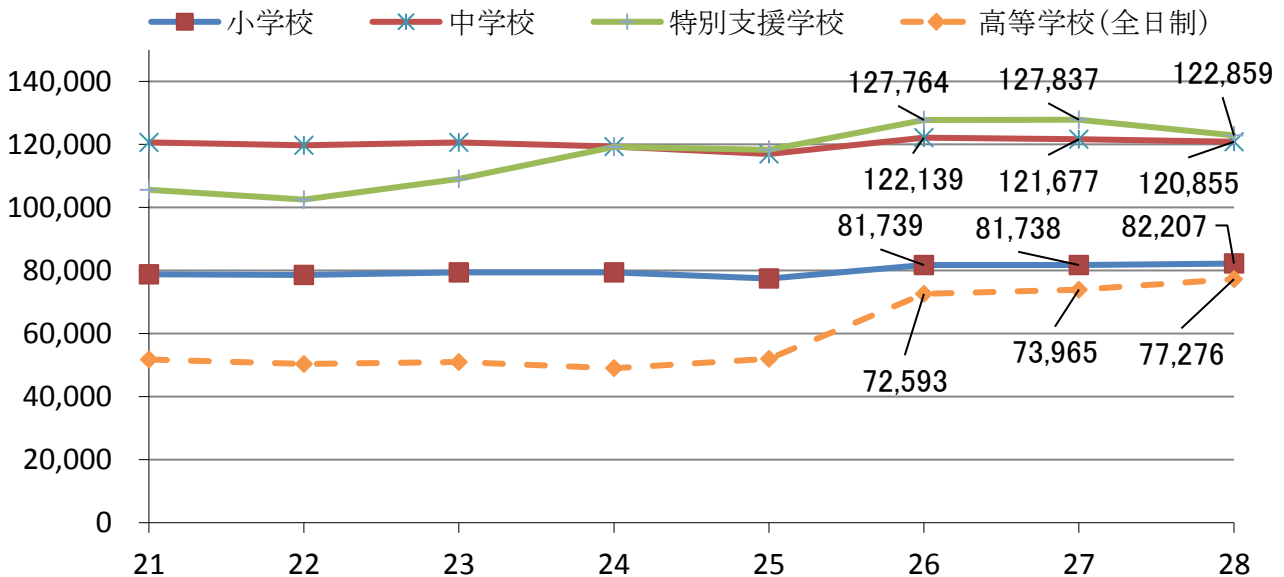
児童・生徒1人当たりの学校徴収金支出について

◆平成28会計年度における主な学校種別1人当たり学校徴収金とその内訳(単位:円)



主な学校種における、児童・生徒1人当たりの支出年額は、特別支援学校が122,859円と最も多く、次いで中学校が120,855円、小学校が82,207円の順となっており、学校ごとの支出費目別については、小学校・中学校・特別支援学校において「学校給食費」が最も多くなっている。

◆小・中・特・高校(全日制)における1人当たり学校徴収金(年額)の推移(単位:円)

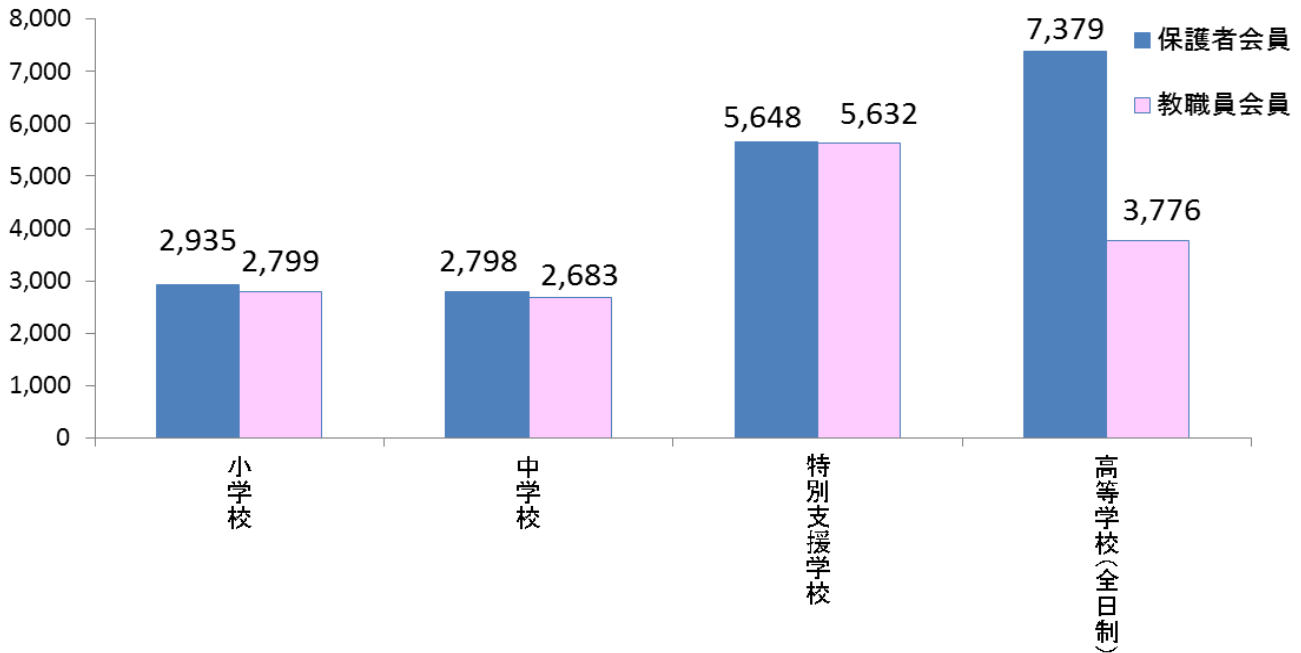


主な学校種における児童生徒一人当たり学校徴収金の推移については、過去3カ年でみると中学校・特別支援学校では減少しており、小学校・全日制高等学校では増加している。

なお、平成27年度調査(平成26会計年度)から、旅行業者が保護者から直接徴収している修学旅行等の経費等の計上の見直しを行ったことにより、特に全日制高等学校で25年度から26年度にかけ増加している。

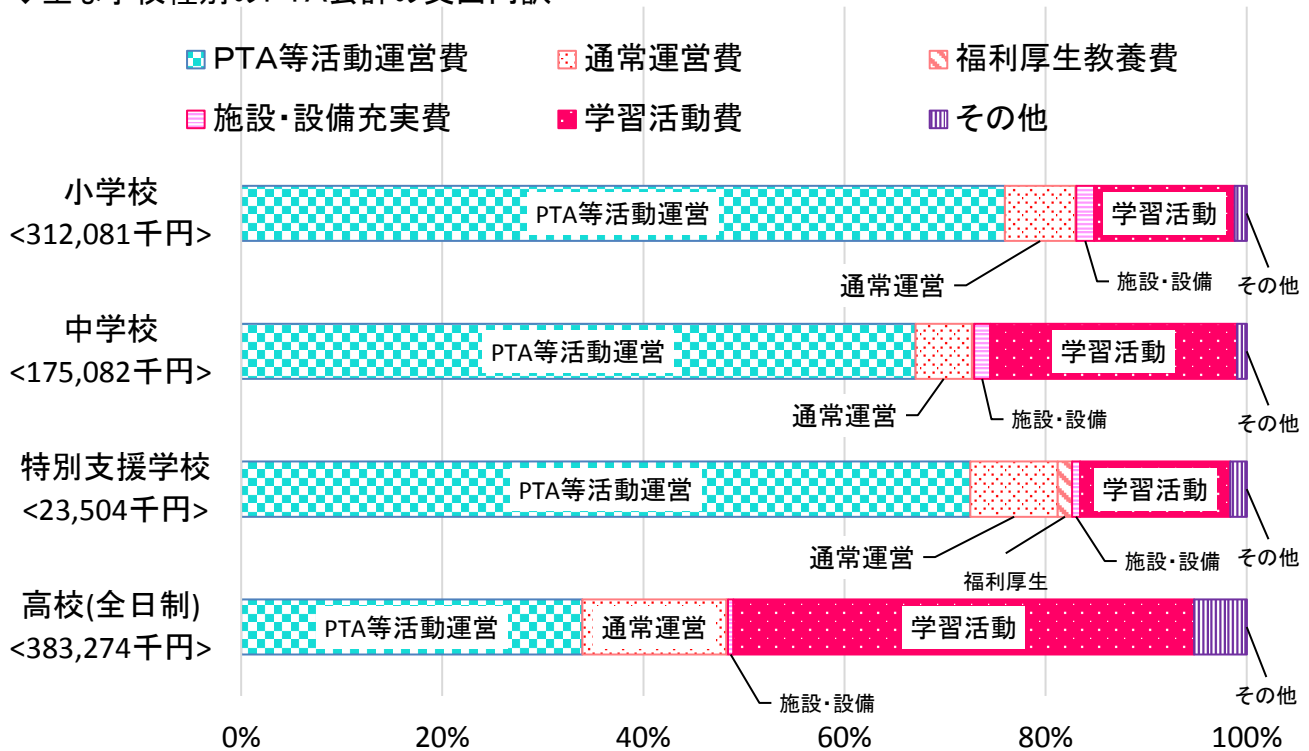
2 PTA会計

◆主な学校種別会員1人当たりのPTA会費年額(単位:円)



主な学校種別のPTA会員一人当たりのPTA会費年額では、保護者会員は全日制高等学校が、教職員会員では特別支援学校が最も高くなっている。
また、保護者会員と教職員会員では、保護者会員が多く会費を負担している。

◆主な学校種別のPTA会計の支出内訳



PTA会計の支出については、小学校・中学校・特別支援学校においてPTA等活動運営費が最も多い割合であり、全日制高等学校では学習活動費が最も大きい割合を占めている。